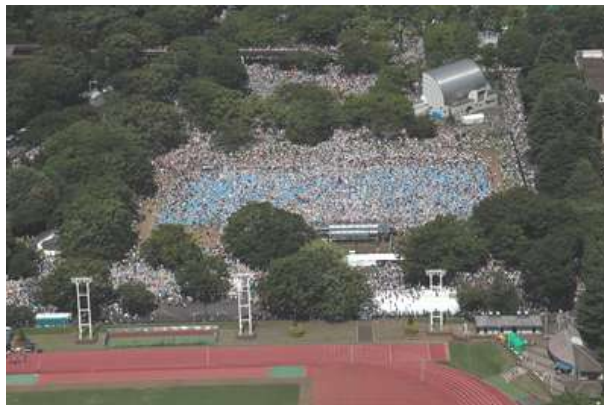


# 全労連女性部ニュース NO415 2012年7月19日

発行 全労連女性部 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F



さよなら原発  
**17万人**集会

IN 代々木公園





7月16日、原発ゼロを求め、「さよなら原発10万人集会」が東京・代々木公園で開催され、炎天下、全都道府県から17万人が、参加し、野田内閣に原発からの撤退を迫りました。

この日の集会は、呼びかけ人のノーベル賞作家の大江健三郎さん、坂本龍一さん、瀬戸内寂聴さんら著名7氏が登壇し訴えました。17万人の参加者で、第1ステージのサッカー場も、第2ステージの野外音楽堂も、約1キロメートルにわたる歩行者天国も人で埋まりました。

90歳の作家の瀬戸内寂聴さんは「100年前、自由を奪われた時代がありました。過去の人たちが苦勞して、自由を守ったから今日があるのだと思います。いま原発をとめる、政府の方向をかえることになるか、わかりません。それでも集まらなければならない。たとえ相手が聞かなくても言い続けましょう」と呼びかけました。音楽家の坂本龍一さんは「官邸前の抗議と同じように多くの市民が来ていらっしゃると思います。僕も一市民として来ました。電気のために、子どもの命を危険にさらすようなことはすべきではありません。お金より命です。福島のと後に沈黙するのは野蛮（やばん）だ、というのが私の信条です」と訴えました。作家の落合恵子さんは、「野田政権が国民というとき、一体だれを見ているのか。ここにいる人が国民、市民だ」とのべ、原発推進を挫折させましょうと訴えました。

作家の澤地久枝さんは、「核に汚染される地球にしたくはない。未来のためにがんばらなければならない」と発言。

17万人の参加者は集会と中の13:30からアピールパレードを3コースで出発させ、19:30ころまで長いパレードが続きました。

## 婦団連

# 衆議院比例定数の削減に反対する女性の緊急行動

6月26日、民主党が民自公による消費税増税・社会保障改悪の密室談合の最中に衆議院議員定数削減案（「公職選挙法及び衆議院議員選挙区画定審議会設置法の一部を改正する法律案」）を提出し、消費税増税法案の採決当日に委員会への付託を強行しました。

7月11日、婦団連は緊急に、比例定数削減反対の女性の行動をよびかけ、国民大運動などの昼の国会行動後に衆議院比例定数の削減に反対する女性の緊急行動をおこない、参加者によるリレートーク後、



政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会の委員長、理事（9人）に、要請（添付書類）を行いました。リレートークでは「身を切るのであれば、政党助成金を斬れ！定数削減は、民意・女性たちの声が国会に届くのを恐れているからだ」「最賃が低すぎて生活できない、貧困と格差が広がる中、消費税増税なんてとんでもない。民意を切り捨て悪政をすすめることは許せない。この間何度も議員要請を行ってきたが、与党議員の中にも小選挙区制の弊害を指摘する声も広がっている」と訴えました。

要請行動では、赤松広隆委員長（民主）の秘書「昨日委員長になったので、いろいろな意見を聞きたい」、加藤公一理事（民主党国対委員長代理）の秘書は「連用制には反対だが、各党の要望に応じるため。小選挙区制は民意を歪めるのではなく『集約する』もの」笠原多見子理事（国民の生活が第一）秘書は「民主党は民主ではないから」村田吉隆理事（自民）秘書は「自民党のなかにも女性の進出をはばむもの」という意見はある」などの対応がありました。

## 消費税増税は許さない！女性の宣伝行動

消費税廃止各界連が呼び掛けた集中宣伝行動週間の一環で、中央では7月12日を女性の宣伝行動デーとして、新宿西口で全労連女性部、自治労連、全教、全商連、新婦人、婦団連、婦人民主クラブなど女性団体から20人が参加して宣伝・署名行動を行いました。柴田真佐子女性部長は大企業富裕層への応分の負担を求めれば社会保障拡充の財源はある。消費税増税反対の世論をひろげようと訴えました。

宣伝では、「昨日も署名をしたが、またしてもいいか？何度も署名をしたい気持ちだ。野田さんにはやめてもらいたい」など怒りを持って、呼びかけに応じてくれる人で、多くの署名が集まりました。

# 資生堂株主総会宣伝

## アンフィニ争議の早期の解決を

(資生堂アンフィニ争議 NWES 30 から) 6月 26日、東京日比谷の帝国ホテルで資生堂の株主総会が開催されました。

支援共闘会議は、争議団が解雇されてから毎年(3年間)株主に向けた宣伝を総会前に行っています。

今年も朝から宣伝を行い、神奈川県内はじめ、全労連女性部からも多くの方がかけつけていただきました。

帝国ホテルの2カ所の玄関に分かれて、ハンドマイクで訴えながら道行く人たちや株主のみなさんに宣伝ビラを差し出し、「まだ、やってるの!?!」と驚く株主もいる中、「がんばってね」と声をかけてくれる人も。女性のみなさんが次々とマイクを手に取り訴えると、ビラを受け取る人も多く、800枚以上のビラを配ることができました。



## 資生堂 第112回定時株主総会に5人参加

報告者 支援共闘事務局次長(全国一般書記次長) 青池香子

今年は、株主総会に向けて資生堂の株主を募り、アンフィニ争議団の池田分会長をはじめ新たに3人が株主となり、合計5人が総会に参加しました。

私たちは、会場の左右に分かれて二手に座り、一番前の席と前から二番目の席という、どちらも役員が顔がよく見える位置を取りました。

席に着くと、私の隣に座った2人の女性が、争議の宣伝ビラをじっくり読んでいて、総会が始まってもしらぬことなく、何度も読み返していました。

総会では、ひな壇に並んだ資生堂の役員や会場の雰囲気にも圧倒されながらも、やっとお目にかかることができた社長をはじめ、役員の方々をジッと見続け、その距離の近さに手を伸ばし「ちょっと」と声をかけたくなるほどでした。

そして、質疑応答。議長を務める社長が「質問のある方は挙手をお願いします」と言ったとたん、私たちは勢いよく手をあげました!が、ビラを読んでいた隣の女性が「ハイ!」とハンカチをぐるぐる回しながら誰よりも元気に手をあげ、社長は一瞬驚いた顔を見せたものの、すぐに他の人に目をやりこちらは無視…、その後も隣の女性2人に負けまいと手をあげ続けましたが、あまりにも目立つグループ(一角)になってしまい、逆に指名されないのでは?と不安になりました。

しかし、私たちを無視し続けた社長が反対側に目をやり「黒のシャツを着た女性、どうぞ」と言った瞬間、「池田さんだ!」と思わずニヤリ。見事に争議団の池田さんが指名されました。

池田さんは始めに「私は母親が資生堂の化粧品を愛用しており、私の国(台湾)ではすばらしいブランド化粧品です」と切り出し、社長は“うんうん”とうなずきながら聞いていました。そして、「鎌倉工場で作っていました」と言ったとたん、社長をはじめすべての役員が表情が変わり、一気に会場の雰囲気は緊張に包まれ、それでも、池田さんは一番前の席で社長や役員を交互に見ながら、臆す



ることなく凛とした態度でゆっくり、丁寧に“誇りを持って資生堂の口紅を作ってきたこと”“なぜそんな自分が解雇されなければいけないのか”を訴えました。株主総会という大舞台、しかも社長や役員でさえ緊張して声が震えているのに、池田さんは資生堂の役員と株主に語りかけるように話し、まるで物語を聞いているかのようなようでした。

“すばらしい”と感動していると、会場の後ろから「早く質問を言え」と男性がどなるような口調でヤジを飛ばし、池田さんは「解雇の問題をこのままにしてよいのか、原告たちへの雇用責任を果たしてほしい」と冷静に質問。池田さんの発言が終わると、会場からは発言を支持する多くの拍手が起こり、私の隣に座っていた女性2人も割れんばかりの拍手をしていました。

残念ながら資生堂は、他の質問者への答弁と違い、しっかり用意された文書をただ読むだけ。しかもその中身は、これまでの経過を㈱アンフィニが行ったことであることを強調しながら話すのみで“資生堂に道義的責任はない”と、まともな回答はしませんでした。

その回答を聞いて怒ったのは、もちろん私たち！…だけでなく、隣の女性2人がヒソヒソと「ほら、やっぱり女性が発言しなきゃダメよ」「あんた言ってやりなさい」とビラを見ながら話していました。“なんて心強い人たち”とうれしかったんですが、私たちが指名されることは最後までありませんでした。

会場が広く、何人の株主が手をあげていたかはわかりませんが、参加者2,454人の内、発言者10人の中に池田さんが入ったことは本当によかったです。

## ♪参加を呼びかけます

### 資生堂による非正規切り撤回/7・28 銀座資生堂パーラー前 夕涼み宣伝

日時：7月28日（土）

集合：15時45分

宣伝：16時～17時

場所：銀座資生堂パーラー前

（中央通り 銀座7丁目交差点付近）

東京都中央区銀座8-8-3



チラシを添付しました。